

清流の国ぎふ

# 地歌舞伎 勢揃い公演

山岡歌舞伎保存会(恵那市)

恵那市山岡町では、江戸時代後期に町内の神社に舞台が作られ、地歌舞伎が上演されてきました。明治期以降も盛んに演じられ、昭和三十年頃は夜明けころまで芝居が行われるほど盛況であったと言われます。

昭和四十年代には一時下火となりましたが、山岡町に在住していた東濃地方を代表する振付師 六代目 松本団升師匠の指導により、芝居の熱が徐々に再燃し、平成七年に地元的地歌舞伎愛好家を中心に当保存会が結成されました。

現在は団升師匠の跡を継ぐ振付師 二代目 松本団女師匠の指導を受け、年一回開催される山岡芸能文化発表会や、恵那市で開催された「ぎふクリスタル国体二〇二二」開会式の歓迎アトラクションで地歌舞伎を披露し、大会を盛り上げました。

今後も、地域が一丸となって地歌舞伎を大切に守りながら、地域の子どもたちへ継承していきます。



東白川村歌舞伎保存会(東白川村)

東白川村には、相生座・神田座・日向座の三つの芝居小屋が存在し、村の娯楽の中心として地芝居(農村歌舞伎)が盛んに上演されてきました。しかし、旅役者の来演や映画の普及によって、昭和十年頃から一時中断され、戦後から昭和二十六年頃にかけて地元の愛好者の手により二・三回上演されたものの、テレビ等の普及により衰退し、三つの芝居小屋も取り壊されてしまいました。

その後、昭和五十年に地元の有志が集って「東白川村歌舞伎愛好会」を発足し、松本団升師匠の指導のもと、昭和五十二年九月二十九日(神田神社例祭日)に東白川中学校体育館で復活第二回公演を上演しました。平成六年には、文化施設「はなのき会館」完成に伴って、同会館に舞台を移し、団体名を「東白川村歌舞伎保存会」と改めました。

そして、新たな体制で郷土歌舞伎を後世に保存伝承していくため、復活第一回公演から毎年一回の定期公演を継続しています。



## 新型コロナウイルス感染予防対策について

- ・手指消毒、検温及び分散入退場の実施など適切な感染防止対策を講じます。
- ・微熱等の症状がある場合は来場をお控えください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、公演内容の変更または公演中止となる場合があります。

ぎふ清流文化プラザ  
YouTubeチャンネル



地歌舞伎勢揃い公演の動画を配信中!



## 持っました!!

本公演より、  
大向こう・おひねりを  
再開します!



## 次回公演のお知らせ

清流の国ぎふ

5月28日(日)開催!

地歌舞伎  
勢揃い公演 初夏

出演：いび祭子ども歌舞伎保存会(揖斐川町)  
垂井曳軸保存会(垂井町)  
東美濃子ども歌舞伎(恵那市)

※詳細はホームページにてお知らせいたします。

## 地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

「清流の国ぎふ」文化祭2024さきかけプログラム

清流の国ぎふ

# 地歌舞伎

## 勢揃い公演

2023年3月19日(日)

◆会場 **ぎふ清流座**(ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール)

◆開演 14時00分(開場13時00分)

◆上演外題・出演

14時00分(15分)

壽式三番唄

山岡歌舞伎保存会(恵那市)

14時40分(80分)

源平布引揃 義賢最期

東白川村歌舞伎保存会(東白川村)



山岡歌舞伎保存会



東白川村歌舞伎保存会

## イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、  
分かりやすく解説します。

歌舞伎ソムリエ おくだ 健太郎氏



終演 16時00分(予定) 演目等は変更となる場合がございます。

# 寿式三番叟

## 山岡歌舞伎保存会(恵那市)

「寿式三番叟」は江戸時代元禄期に、能の「翁」を元に義太夫曲に改曲されました。文楽などの人形浄瑠璃、また歌舞伎舞踊としても特別の祝儀物として大切に演じられてきました。始めに姫と千歳が登場します。続いて2人の三番が鳴物に合わせにぎやかに現れます。天下泰平・国土安穩・五穀豊穰を願い、舞台狭しと踊ります。最後の鈴の段になると、本日も来場の皆様に福あれと、幸せの種蒔をし、本日の舞台を舞い清めます。今回は、恵南歌舞伎音楽教室が地方を務めます。

### ◆配役

姫	原梨恋 (中学三年生)	義太夫	太夫	竹本美善
千歳	原田知咲季	三味線	松本知也	三宅勝彦
三番	水野陽太 (中学二年生)	後藤貴之	勝正憲	西脇恵美
	丸山涼葉 (中学二年生)			

### 恵南歌舞伎音楽教室

# 源平布引滝

## 義賢最期

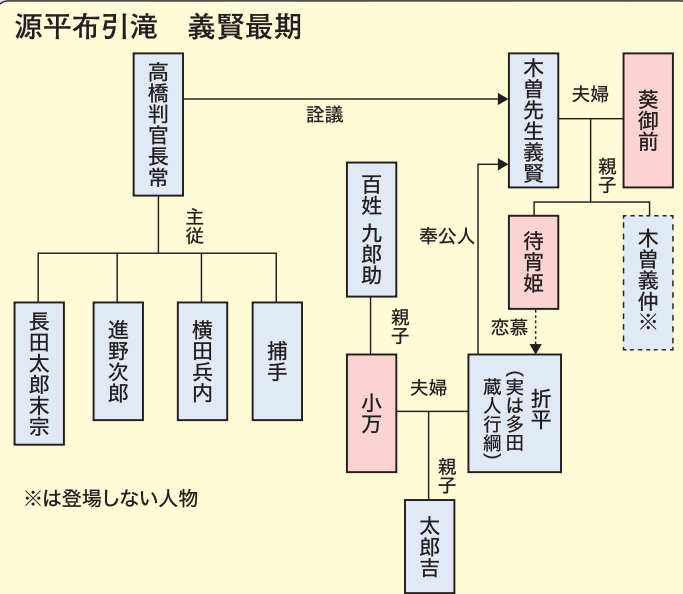
## 東白川村歌舞伎保存会(東白川村)

平家に仕える木曾義賢の館へ奉公人の折平の女房小万とその父九郎助、折平の子太郎吉が訪ねてきます。折平に恋をしていた待宵姫は、妻子がいたことを知り傷つきます。ある時、折平が館へ戻った際、義賢は密書の封印が切れていることから折平を源氏の武士行綱だと見破り、自らも源氏再興を目指し、源氏の白旗を持っていることを明かし、二人で境遇を嘆きます。

そこへ、平家方の高橋判官、長田太郎が白旗を差し出せとやってきます。知らぬと突つばねる義賢に対し、源氏の武士であった義賢の兄義朝の髑髏を見せ、足で踏めと迫ります。堪えかねた義賢は長田を斬りつけますが、高橋判官は逃してしまいました。義賢を打ち取らんと平家の大軍勢が屋敷に押し寄せます。義賢は待宵姫と行綱に宝剣を渡し逃します。いよいよ戦いとなり、義賢は妻の葵御前に白旗を託し九郎助と共に逃しますが、敵の横田兵内に取り残られてしまいます。奮闘の末、白旗を奪い返した義賢は小万に託します。やがて義賢は力尽き壮絶な最期を遂げるのでした。

### ◆配役


木曾先生義賢	田口房国	葵御前	熊崎恵子	進野次郎	大西紘記
折平(実は多田蔵人行綱)	安江忠孝	待宵姫	永井祐子	横田兵内	福田龍海 (中学三年生)
高橋判官長常	安江昭仁	百姓九郎助	村雲晴夫	捕手	稲垣靖
長田太郎末宗	安江将永	小万	桂川実希	安江清	
		太郎吉	若井歩 (小学三年生)	若井純	牧野勲平



### イヤホン同時解説

おくだ健太郎氏

名古屋出身。早稲田大学政経学部卒業後、大歌舞伎のイヤホンガイド解説者としてデビュー。その後二十五年あまり、歌舞伎座や御園座などで解説員を歴任。また、歌舞伎ソムリエの呼称で、執筆や講演、YouTubeの発信など、幅広く活躍している。



振付指導	松本団女
太夫	竹本龍豊
三味線	豊澤賀祝
下座	松本奈津美
顔師	松本宙士
床山	松本真由美
着付	林まゆみ
衣裳	松本衣裳